

# Annual report 2017

2017年度 事業報告書

## 名古屋 YMCA 使命

---

名古屋 YMCA は、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる社会の実現を目指します。

## 目次

---

2017年度を終えて	1
2017年度事業方針	2
1年のあゆみ	4
事業報告	
名古屋 YMCA 本館	6
南山ファミリー YMCA	7
キャンプ事業	8
神沢ファミリー YMCA・刈谷地域センター	9
国際交流活動・イングリッシュ	10
ボランティア・地域交流・地域活動	11
ユース活動・募金活動・支援活動	12
南山幼稚園	13
かみさわ保育園・こひつじ保育室・名古屋 YMCA 学院	14
現況	15
ボランティアリーダー・指導者	16
役員・スタッフ	

## 2017 年度を終えて

「みつかる。つながる。よくなっていく。」

日本全国の YMCA は新しいスローガンのもと、新たな一歩を踏み出しました。YMCA は「したい何かが見え、誰かとつながる。私ができる、かけがえのない場所」として、地域に必要とされる存在であり続けます。それは、「互いに認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る」ためです。そんな私たちは、「心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ」人々でありたいと願っています。新たなスタートを切った YMCA は、従来の赤三角形のコンセプトは踏襲しつつ、慣れ親しんだロゴマークも進化させました。それは、鳥が飛び立とうとする瞬間をモチーフとしたシンボルになっており、ポジティブ Y と名付けました。1 人ひとりの生命の息吹、未来へ向かう前向きな力、平和への想いを表現しています。

名古屋 YMCA はこの数年、子どもの居場所作りをキーワードにかみさわ保育園（2014 年度）、こひつじ保育室（2015 年度）を開設し、南山幼稚園の全面改修（2014・15 年度）、学童保育の開講（2016 年度）と順次活動拠点を整えてまいりました。2017 年度は、今後益々加速度的に変化するであろうグローバル社会に対応するために日本語学校の開設準備を行いました。4 月に新拠点となる校舎を西区花の木に購入し、必要書類を法務省に提出。5 月に入国管理局による実地調査、7 月に文部科学省のヒアリングを受け、11 月に日本語教育機関としての告示基準を満たしているとの通知があり、2 月に告示校として承認を受けました。2018 年度開校準備がすべて整えられたことにご指導、ご支援いただいた全国 YMCA の仲間にご感謝いたします。私たちの日本語学校は、単に日本語を学ぶ場ではなく、多文化共生社会を実現するための学びの場であり、特にアジア地域の青年の夢を実現する学校でありたいと考えます。

昨年度より開始した学童キャンプ。相対的貧困児童を含むすべての子どもたちが、夏休みに安全・安心な居場所が確保され、自然体験ができる場として継続して実施いたしました。今年は、3 期実施し、合計 81 名の子どもたちが参加してくれました。支援をいただいている企業やボランティアの数も増え、社会全体で子どもたちを育む一助となることができました。名古屋 YMCA は、社会の課題に目を向け、新たな取り組みに挑戦してまいります。更なるご支援をよろしくお願いいたします。

新ロゴ 1



新ロゴ 2



名古屋 YMCA 理事長  
川本 龍資



名古屋 YMCA 総主事  
中村 隆

# 2017 年度 事業方針

## 名古屋 YMCA の使命

私たち名古屋 YMCA は、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる社会の実現をめざします。

- \* 未来を築く子どもたちを、地域・家庭と共に育みます。
- \* グローバルな視点を持った青少年を育みます。

## ■公益財団法人名古屋 YMCA

### 事業方針

2017 年度の事業方針は、中期基本方針（2016 - 2020）の 2 年目として方針を具現化するための組織変革と人事配置を行い、計画の完遂に向けての基盤を確立する。

1. YMCA 全事業のブランディングとミッションを明確にします。
  - ◇ 全国の YMCA と協働し、ブランディングを推進します。
  - ◇ YMCA を支える会員を増強し、寄付金を募る仕組みを作ります。
2. 「子ども」「家族」の居場所の創生にチャレンジします。
  - ◇ 子どもを守り育む保育園・幼稚園の働きを充実させます。
  - ◇ 学童期の子どもたちの居場所を拡充します。
3. 青少年のこころと身体を育む活動を大切に継続します。
  - ◇ 持続可能な社会を実現するキャンプ活動及びキャンプ場整備を推進します。
  - ◇ ユースボランティアと共に、子どもたちの本物体験・健康づくりに寄与します。
4. グローバルな視点を持つ青少年を育みます。
  - ◇ 日本語学校再興のための準備を開始します。
  - ◇ パートナーシップを持つ YMCA との協働を強めていきます。  
(ソウル・ロサンゼルス・南京・フィリピン)
5. 高齢者が安心して暮らせる社会の実現のための取り組みを始めます。
  - ◇ 幼子と高齢者が触れ合う社会を目指します。
  - ◇ 社会福祉法人設立を目指し、高齢者事業への取り組み準備を始めます。
6. ボランティアの人々と共に社会の課題に向き合います。
  - ◇ アジアの国々と平和についての学びを継続します。
  - ◇ 子どもたちを取り巻く社会課題に対する働きを強化します。(貧困・障がい)
  - ◇ 定住外国人の課題に対する取り組みを行います。
7. スタッフ研修の充実と強化を行います。
  - ◇ 全国の YMCA と連携をしながらスタッフ養成を行います。
  - ◇ クリスマンリーダーシップを大切に育みます。

## ■学校法人名古屋 YMCA 学園

### 【南山幼稚園】

#### 保育方針

南山幼稚園は、一人ひとりの子どもたちが、「自分が愛され、受け入れられている」という安心の中で、のびのびと生活し、他者とともに育ちあう場でありたいと願います。

- ・キリスト教を基盤とした保育を通して、感謝のこころ、思いやりのこころを育みます。
- ・あそびを中心とした保育を通して、自分で考え、やってみようとする力を養います。
- ・様々な経験・体験を通して、豊かなこころと健やかなからだを育みます。

#### 事業計画

1. キリスト教保育を基盤とした子どもの『こころ』と『からだ』を育む保育の質を高めます。
  - 育ちを支える食育プログラムを大切にします。
  - 世界に目を向ける、興味を持つこころを育むプログラムを充実させます。
  - 発育発達に応じた動きづくりに取り組みます。
  - 創造性を豊かに育むあそびを充実させます。
2. 園外・園内研修の実施を通して保育の質を高めるとともに、教員の質を高めます。
  - キリスト教保育連盟研修・聖書研究によるキリスト教理解研修を行います。
  - 特別支援を要する子どものための援助や接し方についての理解研修を行い、保育に生かします。
3. 地域に開かれた幼稚園・YMCA としての働きを強めます。
  - 地域のニーズに応える子育て支援に積極的に取り組みを行います。  
子育て支援プログラム『ふたば』を充実させ、地域の子育てのニーズにこたえます。
  - 地域との協働、幼稚園や YMCA に連なる方々との共働に取り組みます。  
地域交流の場である『ファミリーコンサート』を継続実施し、地域の方が文化に触れる機会を提供します。
  - 80周年未来募金を用いて、子どもたちの『こころ』と『からだ』を育む環境づくりに取り組みます。  
子どもたちが季節を感じながら過ごすことのできる園庭の緑化を行います。

### 【YMCA かみさわ保育園】

#### 保育方針

「一人ひとりを大切に丁寧に関わる保育を行います」

- ・神様によって創造されたかけがえのない存在として、一人ひとりの子どもを受け容れる保育を行います。
- ・子どもが「愛されている」喜びを感じながら健やかに生活することによって、生きる基礎を培う保育を行います。
- ・違いが認められること、他者との違いに気づくことによって、共に生活する努力を行い、「自分らしく」成長する保育を行います。

#### 事業計画

1. 人材の獲得と養成に努め、一層の保育の質の向上を図ります。このために、職員会の充実と各種研修への積極的な派遣を実施します。また、2018年度の新卒保育士採用に向けて養成校との関係作りを強化します。
2. 施設的环境を整備し、子どもがのびのびと生活できる保育環境を整えます。このために、園庭のコンクリートテラスの安全対策工事、園庭の土の補充を行います。また、大型遊具の導入などについて検討します。
3. ファミリー YMCA との連携を強めて事務局機能を強化し、効果的な人員配置や人材の活用をはかります。合わせて経営管理のノウハウを学び、財政的な基盤づくりや中長期の計画の策定をはじめます。
4. 引き続き保護者会（ひだまり会）の園行事への積極的な関わりを働きかけ、園と家庭が協力してより良い保育環境を整えます。

## 【YMCA こひつじ保育室】

### 保育方針

「一人ひとりを大切に丁寧に関わる保育を行います」

- ・ 神様によって創造されたかけがえのない存在として、一人ひとりの子どもを受け入れる保育を行います。
- ・ 子どもが「愛されている」喜びを感じながら健やかに生活することによって、生きる基礎を培う保育を行います。
- ・ 違いが認められること、他者との違いに気づくことによって、共に生活する努力を行い、「自分らしく」成長する保育を行います。
- ・ 小規模保育室として、少人数の中で一人ひとりと向き合い、あたたかい家庭的な雰囲気の中で保育を行います。

## 1年のあゆみ

### 公益財団法人名古屋YMCA

月	日	あゆみ
4	2 29	入職式、スタッフ・役員懇親会 春の根の上まつり
5	3-5 14	リーダートレーニング（日和田） 名古屋東海ワイズメンズクラブ 50周年式典
6	18 20-27	国際協力街頭募金 香港ユース国際交流ツアー
7	8-9 15 24-29 31-8/5	日和田キャンプ場開設ワーク ICCPJ(インターナショナルキャンプカウンセラー)-8/15 学童キャンプ（1期） 学童キャンプ（2期）
8	2-13 15-20 21-26	名古屋市中学生バスケットボール大会 日韓ユースセミナー（名古屋YMCA） 学童キャンプ（3期）
10	1 7-8 7-9 9 29	名古屋YMCA大会 日和田キャンプ場クローズドワーク 全国リーダー研修会（広島） 秋の根の上まつり 南山ピースフルサンデー
11	4 18 24	第24回チャリティーラン YM・YW合同祈禱会 チャリティーゴルフ
12	15-17 16 16-20 23	スキー実技リーダートレーニング クリスマスカードコンテスト表彰式 日中韓YMCA平和フォーラム（韓国・光州） クリスマスキャロル
1	5	新年礼拝
2	28	ピンクシャツデー
3	3 4 10 11 21 24 30	合同ピアノ発表会 名古屋ワイズメンズクラブ 70周年記念式典 イングリッシュフェスティバル 3.11 追悼式 ユースボランティアリーダー感謝会 チャリティーウォーク 名古屋YMCA日本語学院開所式

### 南山幼稚園

月	日	あゆみ
4	1 8 28	入職式 入園式 イースター礼拝
5	12 25	親子遠足（農業センター） プラネタリウム（年長）
6	3 13 15 16	ありがとうの日 フィットネス参観（年中） フィットネス参観（年長） フィットネス参観（年少）
7	4 18-19	たなばた おとまり保育（年長）
8	18-19 26	卒園児キャンプ（日和田） 同窓会
9	1・9 15	入園説明会 おまねき会
10	8 13 17 20 29	らんらんデー 秋の遠足（年少） 秋の遠足（年中） 秋の親子遠足（つぼみ） ピースフルサンデー
11	2 7	おもいほり遠足（年長） 感謝祭
12	14・15 16	クリスマス キャロリング
1	11 16-18 29・30 31	おもちつき 保育参観 フィットネス参観 観劇
2	1・2 16 23	フィットネス参観 音楽会 ありがとうの日
3	15 19	卒園式 終業式

## 事業計画

1. 保育の質の向上の為、職員研修を定期的実施します。また、保育環境を整備し、月齢に見合った玩具や教材の充実を図り、遊びの中で成長ができる環境を整えます。
2. YMCA本館との連携を図り、地域に開かれた施設を目指し、保育施設見学・YMCAクラスとの交流（フィットネス・話し方教室）を実施します。
3. 保育運営、保育内容についてのアンケート等を実施し、保護者のニーズを把握した上で、保護者の方と協同しながら、より良い保育室運営を目指します。
4. 乳児期の食育について、自園給食を通して子どもたちや保護者に伝えていきます。  
また産休明け児の授乳～離乳食の進め方、アレルギー対応についても、保護者と連携を図りながらともに進めていきます。

### YMCA かみさわ保育園

月	日	あゆみ
4	1 " 19	入園式 神沢ファミリークラシックコンサート イースター礼拝
5	13	親子遠足（雨天中止） 午後 職員研修（AED救命講習）
6	20 23-30	プラネタリウム鑑賞（5歳児） 個人別懇談会
7	22	夏まつり
9	15 27	ありがとうの日（祖父母招待） 0・1歳児給食試食会・2歳児参観
10	21 "	運動会（雨天・南山幼稚園体育ホールにて） 午後 職員研修（サッカープレイパークに学ぶ）
11	1 15 21 29	芋掘り遠足（4.5歳児）小遠足（0-3歳児） 収穫感謝の日 緑消防署見学（5歳児） SIDS（乳幼児突然死症候群）対応訓練
12	16	クリスマス（礼拝・祝会）
1	17 24	おもちつき 保育参観（3-5歳児）
2	2 26-3/2	豆まき クラス別懇談会
3	1 7 13 14 24 26	ひなまつり会 お別れ遠足 新入園児健診とオリエンテーション お別れ会 卒園式 修了式

### YMCA こひつじ保育室

月	日	あゆみ
4	1 26	入園式 イースター礼拝
6	2-9 7	個人懇談 花の日（警察署・消防署訪問）
7	5	七夕
10	21	運動会（南山幼稚園にて）
11	15	収穫感謝の日
12	9	クリスマス（礼拝・祝会）
2	3	節分
3	2 16 23	ひなまつり お別れ遠足 卒園式





## 名古屋 YMCA 本館

### ◆子どもプログラム

#### ＊体操教室＊

年齢やレベルに応じて 60・75・90 分のクラス時間の設定をしました。幼児体育には、初めて教室に来る新規メンバーも多く、集団での体育遊びや器具を上手にを使って身体を動かす楽しさを体験しました。体操クラスでは、継続メンバーに加え、FUN! のオプションメンバーも増えて、レベルで分けたグループで個々のレベルアップを目指しながら、互いを認め合いながら練習に励む姿がありました。火曜日から土曜日の 9 クラスに 83 名の登録をいただきました。



#### ＊乳幼児教室＊

子育て支援のプログラムとして行っている乳幼児総合教室では、近隣のみならず、遠方からの参加者も集まりました。保護者とのコミュニケーションを大切にして学期ごとの発表と保護者参加型のプログラムも実施しました。また、1 歳児クラスのニーズも高く、1 学期は場所に慣れるための親子クラス、2 学期以降が母子分離となるこのクラスには 12 名の登録をいただきました。

子どもたちが心から安心して楽しく通える環境作りを目指し、一人ひとりの成長を見守りながら次のステップへ送り出すことができました。

#### ＊野外活動＊

野外活動グループ全体としては、幼児～小学校低学年の参加者が大きな割合を占め、高学年の登録者が少ないのが顕著でした。金山駅での集合解散も定着し、広いエリアでの新規募集の方法として「活動ブログ」をホームページで行ってきました。今後も高学年の活動の場を充実させ、継続者をいかに高めるかの働きかけをしていくことが今の課題です。

#### ＊パレットキッズ（発達障がい児・知的障がい児）＊

体育活動を通して、ルールを守ることや仲間作りを学びました。技術の向上のために一生懸命取り組む姿がありました。

野外活動では、ルールやマナー、コミュニケーションスキルについて体験しながら学ぶこと、また活動を通して仲間作りを大切に活動を継続しました。

夏のキャンプは発達障がい児キャンプを日和田キャンプ場へ 2 泊、知的障がい児は 1 泊、また冬はスキーやゆきあそびなどの宿泊プログラムもねらいにそって安全に運営することができました。

#### ＊文化教室＊

ピアノは 20 名にご登録いただきました。またシーズンの特別練習会も行い、3 月には発表会も行うことができました。新たな取り組みとしては、かきかた・書道講座を設けました。隔週でのクラスとなり少人数ですが、幼児からシニア世代も一緒に学べる場を作りました。

#### ＊アフタースクール FUN! ＊

2 年目のアフタースクールには近隣 3 校から新 1 年生を 11 名迎えることができました。

開講当初からの目標とした「預かり保育」だけにならないよう「放課後の子ども





もたちの可能性を伸ばす時間」としYMCAらしい取り組みを大切に、曜日ごとにスポーツ・アート・英語・総合学習を、子どもたちが自主的に学び・興味の幅を広げられるような働きかけの中、伸び伸びと活動することができました。シーズンの長期間の休みには登録者以外にも毎日たくさん子どもたちが8:30から集まりました。今後も学童に対する社会の傾向にこたえられるように、安心で安全な学びの場を提供していくことを課題としていきます。

## ◆成人プログラム

健康事業では、ヨガクラスや健康教室は前年度からの会員が引き続き参加していただきました。文化教室では、話し方講座は、乳幼児クラスの中で日ごろ練習された一部の読み聞かせやペープサートを披露いただき子どもたちも大変喜んでいたので、今後も季節ごとなどでこのような機会を設けていきたいと思っています。

## 南山ファミリー YMCA

南山ファミリーYMCAでは、1歳児の親子クラスや2歳児の乳幼児クラスなどの小さな子どもたちのプログラムや、年少から小学生までの体操、サッカー、新体操、バレエなどの体育プログラムやピアノ、バイオリン、アート、英語、書道などの文化プログラムや、また80歳を超える高齢者の方たちが参加されているヨガやフィットネスプログラムがあり、子どもから大人まで多くの方々にご参加いただきました。



各体操教室では、鉄棒・マット・跳び箱・トランポリンを主にグループでの活動を大切にしていきました。体操は個人で行うプログラムですが、子どもたち同士が励ましあい、そして技術アップすることで次への頑張りや自信をつけていくことを感じる事ができ、実りあるクラスとなりました。

サッカー教室では、子ども達の一人一人の技術の向上を目的とするだけでなく、仲間と協力することで心が成長することを願いプログラムを実施しました。子どもたちが目標として臨んだ真夏の中日本YMCAサッカー大会では、1・2年生の部では準優勝、3・4年生の部は4位と好成績を残すことができ、日ごろの成果を発揮することができました。

文化教室では、習い事としての人気が高く、南山だけで約120名を超える子どもたちに参加いただき、練習の成果を披露する場としてのピアノ発表会も行われました。

夏・冬・春のシーズンプログラムは南山で行ったチャイルドケアプログラムには、幼児・小学生を中心に多く子どもたちにご参加いただきました。特に夏のプログラムでは『おまつりキッズ』、冬のプログラムでは『お正月だよ！全員集合』といったプログラムに、たくさんの方がキャンセル待ちをされるほどのお申込みをいただき多く子どもたちにご参加いただきました。



秋には、幼稚園との共催でバザーを開催しました。台風の接近により時間を短縮しての実施でしたが、在園児や卒園児また地域の方を中心に多くの方にお越しいただきました。

地域にあるYMCAとして、子どもたちを育むプログラムを、そして地域に根差したプログラムを今後も展開していきます。

## キャンプ事業

### ■夏のキャンプ

今年度は名古屋市の小学校にパンフレットを配布したこともあり448名の参加者がありました。特に「立山あそびの森キャンプ」は急遽バスを2台にするなどの対応が必要になりました。2年目の取り組みとして5泊6日の「学童キャンプ」を3期に増やし実施しました。YMCA 賛助会費や寄付金、子どもゆめ基金等を用いて補助制度を作り、『全ての子どもたちにキャンプ体験を』というテーマの下に「衣食住の基本的な生活が守られる」「自然の中で生かされている」「仲間作り」を目標に実施しました。多くの方にキャンセル待ちいただき社会課題に取り組むプログラムとしてニーズを実感することが出来ました。またリーダー OBOG がキャンプ場に戻ってきて、ご協力頂きました。これからも「社会課題」に取り組み「全ての子どもたちを育む」キャンプを実施していきたいと思えます。



### ■スキーキャンプ

今年は12月初旬より雪が多く年末のスキーキャンプから白馬は全面滑走ができるほどでした。全部で382名の方に参加していただくことが出来ました。

スキーキャンプは、ただスキー技術を指導するのではなく、「本物の雪国の自然体験」や、スキーを通して上達することを体験することで「達成感から自信へつなげる」ことを大きな目標にしています。もちろん生活のペースを大切にしながらキャンプを実施していききました。子どもたちはリーダーと共にスキーに取り組み、日々めきめきと上達し成長していく様子が分かりました。今後も非日常の中の「雪国体験」を大切にしていよいよスキーキャンプを実施していきます。

### ■日和田高原キャンプ場

「学童キャンプ」を3期に増やして実施しました。上記にも記載しましたが、社会課題に取り組む学童キャンプは、参加者はキャンセル待ちが出るほどの反響もありそれでも受けきれないほどでした。またリーダー OBOG のボランティアの方々によって支えていただき嬉しい限りでした。大阪交通遺族会の方に今年も利用して頂き、キャンプ場だけでなく地域の自然の場所に出かけて溪流ハイクや、ネイチャークラフトにも取り組んでいました。大自然のすごさに日々驚いていらっしゃいました。東海学園野外教育実習は、3泊4日を2期行い、約100名の学生が実習に取り組みました。キャンプ実習が進むにつれ、たくましさや自主的に活動していく姿が見られ、「キャンプ生活を楽しむ」ということを改めて感じる事ができた期間でした。

その他にも名古屋 YMCA のシンボリックなキャンプとして長期キャンプ(6泊7日)が再開して3年目になり17名の参加があり、学童キャンプを含めて、泊数の多いキャンプの魅力が見直されていることが分かりました。

大自然の中のキャンプ場で子どもたちも指導者たちも「本物の自然体験」「仲間との絆」「チャレンジすることでの達成感と自信」を体験することが出来たキャンプ場でした。今後も青少年の成長を支えていくキャンプ場でありたいと願っています。

## 神沢ファミリー YMCA

4年目を迎えた神沢ファミリー YMCA の定例クラスは、体操、サッカー、ピアノ、新体操、野外活動が行われました。野外活動は10名からスタートし、3月には20名のメンバーの登録となり、よりグループワークの要素を強く出せるようになってきました。サッカークラスでは、対外試合を通してYMCA以外の仲間とのふれ合いを持つことができ、体操クラスでは新しい仲間が増え、どのクラスでも仲間と楽しみながら身体を動かして来ました。



シーズンプログラムでは、多くのプログラムを準備することはできませんでしたが、磯遊びや野外料理などアクティブな活動には多くのメンバーの参加がありました。4年目ということで、シーズンのリピーターが増えてきたり、定例クラスからシーズンの活動への参加も増えてきました。今後も地域に根ざしたYMCAの活動を目指していきます。

## 刈谷地域センター（ウォーターパレス KC 内）

オープンして4年目となり定例体育・新体操・極真空手クラスには100名以上の子どもたちが参加しています。極真空手クラスは「強化クラス」を増設し、より高いレベルの子どもたちにも対応しています。夏休みの5期にわたる集中体育教室には185名、1期の冬休み集中体育教室には44名、1期の春休みの集中体育教室には44名の参加者があり、刈谷地域でのニーズが高まっていることが分かります。新体操教室も徐々に増え、16名の子どもたちに参加していただき、発表会にも多くの子どもたちが参加してくれました。野外活動も幼児低学年のキッズ27名と高学年のジュニア27名に分かれて実施し、より対象年齢にあった活動を実施しました。野外活動をスタートさせた時、小学校高学年だった子どもたちが、中学生になっても参加してくれ、「将来はリーダーになる。」と言ってくれているメンバーもいます。



ウォーターパレス KC に集うお客様に対して、利用者20万人突破記念のイベントを実施し、利用していただいた感謝の気持ちを伝えるとともに、一層集いやすい刈谷地域センターを目指していきたくと思いました。



## 国際交流活動

### \* I C C P J (インターナショナル・キャンプ・カウンセラー・ジャパン)

台湾から2名の参加者を受け入れました。滞在した1か月間で名古屋YMCAが行うキャンプの引率、チャイルドケアプログラムの活動を共に行いました。



### \* 日韓ユースセミナー

2017年8月15日～20日に韓国・ソウルYMCAから6名のユースが来日し、『絆の再発見』をテーマに交流を深めました。日和田高原キャンプ場ではテント生活や日韓料理紹介などの時間をもち、犬山市観光を通して日本の文化と歴史を紹介することができました。



### \* 日中韓YMCA平和フォーラム

2017年12月16日～20日に韓国・光州にて開催されました。日中韓から約150名が集まり、日本からは19名のユースを含め47名が参加しました。(名古屋からは2名参加)参加者は光州民主化運動の精神を学び、基調講演やユースによる発表に耳を傾けました。次回のフォーラムは2019年度に日本にて開催予定です。

## English (英語)

年間プログラムでは、「Climate Change (気候変動)」を年間テーマとし、英語でのコミュニケーションスキルを身につけることに加え、環境問題について「英語で学ぶ」時間を取り入れました。年中児から小学生高学年を対象とし、平日は1.5時間～2時間、土曜日は午前9時30分から午後4時までのクラスを開講し、全クラスを経験豊かな外国人講師が担当しました。本館は25名、南山ファミリーは44名、神沢ファミリーは9名がプログラムに参加しました。今年度もハロウィン、クリスマス等のイベントや授業参観を実施しました。土曜クラスは、東山植物園・名古屋港水族館・名古屋大学等に外国人講師と遠足に出掛け、幅広い英語表現に親しみました。年度末のイングリッシュフェスティバルでは、南山ファミリーYMCAにて3拠点



の全クラスがClimate Changeに関するプレゼンテーションを行い、ブックコンテストの結果発表等も催され、昨年度よりも多くの方々にご観覧頂きました。幼児から小学校高学年を対象としたシーズンプログラムは、夏インテンシブが「Identity」、冬インテンシブが「Jobs of the Future」、春インテンシブが「AI & Humans」をテーマとし、4日間または5日間のクラスを外国人講師が担当しました。3拠点合計で、夏129名、冬31名、春46名が参加し、テーマを通して様々な英語表現に楽しく親しみました。

## ボランティア・地域交流・地域活動

### 名古屋YMCA市内中学生バスケットボール大会（男子61回・女子47回）

- ◇日 程：2017年8月2日(水)～13日(日) うち計9日
- ◇会 場：千種スポーツセンター他、5会場
- ◇参加者：男子チーム、女子チーム、約3,000名(役員含む)
- ◇戦 績：男子の部 優勝/南光中学校、準優勝/名古屋中学校  
3位/東海中学校、久方中学校  
女子の部 優勝/長良中学校、準優勝/明豊中学校  
3位/はとり中学校、神沢中学校

### 第24回名古屋YMCAインターナショナル・チャリティーラン

- ◇日 程：2017年11月4日(土) ◇会 場：名城公園
- ◇参加者：レース参加 70チーム(420名)、個人レース 50名、ボランティア約150名、観客他約500名
- ◇支援金：5,617,823円(運営経費を除き、4,622,318円を以下のために用いさせていただきます。)



- ①障がいのある子どもたちの活動支援のために
  - 障がい児支援プログラム(体育教室・野外活動)
  - 障がい児指導者研修支援
  - 知的障がい児キャンプ支援(夏キャンプ・冬スキー)
  - 発達障がい児キャンプ支援(夏キャンプ・冬スキー)
- ②全国のYMCAで行われる障がい児プログラム支援のために

### 第24回チャリティーゴルフ大会

- ◇日 程：2017年11月24日(金) ◇場 所：さなげカントリークラブ(愛知県豊田市)
- ◇参加者：36名

### 第4回名古屋YMCA大会

- ◇日 程：2017年10月1日(日) ◇会 場：ルブラ王山
- ◇講 演：YMCAブランディング～みつかる・つながる・よくなる～  
これからのYMCA 名古屋YMCA総主事 中村隆
- ◇参加者：YMCA大会99名、懇親会92名

### 第41回『平和の使者』クリスマスカードコンテスト

- ◇応募総数：1,756点  
(国内1,214点、ソウルYMCA317点、南京YMCA77点、ロサンゼルスYMCA148点)

### 第15回クリスマスキャロル in JRセントラルタワーズ2017

- ◇日 程：2017年12月23日(土・祝)
- ◇場 所：名古屋駅 JRセントラルタワーズ・ガーデン
- ◇参加者：134名



## 青少年・ユースボランティアの活動

2017年度のユースリーダーの活動では、リーダートレーニングの機会を例年以上に持ちました。改めて確認すること、初めて知ることがあり、気づくことができました。トレーニングだけでなく、YMCAのさまざまな活動を通して、リーダーたちの力が強くなり、知識の広がる機会を作り、活動がさらに良いものになっていくように努力していきます。YMCAでの多くの体験と出会いを大いに生かして、地域・世界に貢献できるユースの育成に力を注いでいきたいと思えます。

日程	ユース育成活動	参加者数
4月25日	キャンプリーダートレーニング理論①	15名
5月3-5日	日和田キャンプリーダートレーニング	14名
5月17日	キャンプリーダートレーニング理論②	22名
6月1日	食物アレルギーの勉強会	20名
6月8日	キャンプリーダートレーニング理論③	20名
6月17日	安全講習会	30名
6月18日	国際協力募金（野外例会後）	20名
7月8-9日	日和田オープニングワーク	2名
8月15-19日	日韓ユースセミナー	5名
10月1日	名古屋YMCA大会	20名
10月7-8日	日和田クローズワーク	5名
10月7-9日	全国リーダー研修会 in 広島	2名
10月8日	ユニバーサルキャンプフェスタ（美浜少年自然の家）	1名
11月7日	スキーリーダートレーニング理論①	18名
10月29日	南山バザー	23名
11月18日	YMCA・YWCA 合同祈祷会 （パレット（障がいのある子どもの活動）報告）	1名
11月4日	チャリティーラン	27名
11月24日	スキーリーダートレーニング理論②	21名
12月7日	発達障がいの勉強会（講師：山下直樹先生）	21名
12月13日	スキーリーダートレーニング理論③	30名
12月15-17日	白馬五竜スキー実技トレーニング	27名
2月23-3月1日	フィリピンワークキャンプ	中止
3月21日	リーダー感謝会	37名

## 募金活動・支援活動

### ◇寄付金

学童キャンプ支援金	616,000円
南山80周年募金	252,000円
南山ピースフルサンデー	100,000円
チャリティーゴルフ	108,000円
一般国際協力	177,018円
クリスマス献金	974,604円

### ◇支援活動

○同盟を通じて	
国際協力	100,000円
○学童キャンプ支援	616,000円
○南山募金	255,000円
▽指定正味財算青少年基金より取り崩し	
キャンプリーダートレーニング	227,000円
スキーリーダートレーニング	692,000円
▽指定正味財算国際協力事業基金より取り崩し	
ICCPJ	64,000円
日韓ユースセミナー	280,000円
フィリピンワークキャンプ	127,000円 ※未実施



## 南山幼稚園

南山幼稚園は創立 82 年目を迎え、4 学年で 177 名の子どもたちとそして保護者とともに歩んだ 2017 年度でした。

2017 年度のキリスト教保育連盟の年主題は、『愛されて育つ』でした。私たちは、いろいろな子どもたちに出逢います。その子どもたちはそれぞれ育ち方も、またそのスピードも違う一人ひとりですが、どの子どもも、保護者の方の、そして目には見えないけれど神様からもたくさんの『愛』を受け取っています。そして周りにいる私たちもそんな一人ひとりの子どもたちにたくさんの愛情を注いでいきたいと思えます。愛情をいっぱい受け取った子どもたちは豊かに育ち、今度は人を愛することができる、人を大切にすることができる人になると考えるからです。



保護者の方には、幼稚園での日々の保育、そして様々な行事でのキリスト教保育の実践により健やかな子どもたちが育まれていることをお伝えすることができました。

まためぐみ会委員会を中心としたパンの会、ミュージックベルサークル、絵本ママの会、また多くのボランティアによる幼稚園を支える保護者の活動により、多くの行事が実施することができました。

2 年目を迎えた地域の子育てを支える子育て支援プログラム『ふたば』の月 2 回の活動には、毎回 20 組を超える親子が集まり、絵本の読み聞かせやものづくり、園庭遊びを楽しみました。この『ふたば』が、地域での子育て支援のプログラムとして、また交流の場所として広がりのあるプログラムとなっています。今後もファミリー YMCA との協働を強める中で、地域にある幼稚園としての働きをしていきたいと思えます。神様のみまもりの中で、多くの皆さまのご協力やご支援により、2017 年を歩むことができました。

心より感謝いたします。

年長児 (5 歳児)	55 名
年中児 (4 歳児)	53 名
年少児 (3 歳児)	58 名
満 3 歳児	11 名
合計	177 名

208 年 3 月末人数



### 【保護者役員】

#### めぐみ会委員

赤穂景子、岩間真由子、入谷みゆき、神谷香織、姜明姫、佐野友美、瀧川味千代、竹岡和佳子  
橘温美、長江由桂、畠中由香、深澤智子、三輪広恵、横江美紀

#### パンの会

大原桃子、小川絵里、片山富美子、川端知子、佐藤郁子、鈴木明日香、恒川沙織、鳥居哉子  
野田里美、野々山稚佳子、福山祐佳、榊田由里子、山田恵美

## YMCA かみさわ保育園

2017年度も多くの方々のご支援とご協力をいただき、無事に一年間の事業を終えることができましたことを感謝いたします。

この一年間も“一人ひとりを大切に”という変わらぬテーマを掲げて日々の保育や行事に取り組みました。保育園はYMCAのさまざまなプログラムや



幼稚園などとは違って希望者ばかりが入園するわけではなく、区役所の決定でたまたま入園することになった場合もあります。保育士や栄養士・調理員をはじめ、全スタッフが誠実にまた真摯に子どもと向き合うことで保護者の信頼を得ることができ、「ここに入園できてよかった!」とだけ思っていた保育園であり続けたいと思います。

5歳児(そら組)	11名
4歳児(ほし組)	13名
3歳児(はな組)	13名
2歳児(わかば組)	12名
1歳児(ことり組)	12名
0歳児(つぼみ組)	6名
合計	67名

2018年3月末人数

保育士や栄養士・調理員をはじめ、全スタッフが誠実にまた真摯に子どもと向き合うことで保護者の信頼を得ることができ、「ここに入園できてよかった!」とだけ思っていた保育園であり続けたいと思います。

## YMCA こひつじ保育室

3年目の2017年度も多くの方に支えていただきながら、子どもたちと共に無事に一年を終えることができました。3月には0歳児から3年間通っていた卒園児を送り出すことができました。

こひつじ保育室では「小規模保育室」ならではの、一人ひとりとの関わりを大切に毎日ゆっくりと過ごしてきました。そして目に見えるものだけでは



なく、子どもたち一人ひとりの心の動きをみつめ、保護者の方と連携を取りながら、見えないものを大切にしてきました。YMCAプログラム(うさぎクラスとのフィットネス・朗読会の方による読み聞かせ会)との関わりも継続して実施し、今後も様々な世代の方との交流を図っていきたくと思っています。これからも子どもたちや保護者の方が安心できる居場所として、これからも一人ひとりに寄り添って歩んでいきたいと思っています。

2歳児	6名
1歳児	6名
0歳児	5名
合計	17名

2018年3月末人数

## 名古屋YMCA日本語学院

2017年4月より日本語学校開設準備室を開設し、2017年5月に法務省への日本語学校設立認可申請を行いました。その結果、2018年2月に日本語教育機関(告示校)としての『名古屋YMCA日本語学院』の認可がされました。

名古屋YMCA日本語学院は、名古屋市西区花の木に所在し、「花の木会館」として名古屋YMCAとしての歴史を刻むこととなりました。

2018年4月期生は19名となり、17名の留学生と2名の定住者によりスタートします。入学生の国籍・人数は、台湾6名、中国1名、ベトナム9名、スリランカ1名、韓国2名となりました。



# 名古屋 YMCA の現況

## ◆年間プログラム登録者

区分	登録者数
乳幼児総合	95
健康教育	374
体育・体操教室	264
サッカー	96
館外体育指導	0
中高年教室	14
障がい児支援	39
体育活動	23
野外活動	16
野外活動	214
文化・芸術活動	145
語学・英語	112
こども英語	78
成人語学	34

## ◆シーズンプログラム参加者

区分	参加者数
キャンプ	448
スキー・雪遊び	365
宿泊	277
ワンデイ	88
チャイルドケア	897
夏休み	589
冬休み・春休み	308
集中体操教室	177
夏休み	106
冬休み・春休み	71
イングリッシュ	206
夏休み	129
冬休み	31
春休み	46
乳幼児	53

## ◆施設利用者

区分	利用者数
キャンプ場	517
日和田	397
根の上	120

## ◆チャリティー活動

区分	参加者数
チャリティーイベント	867
ピースフルサンデー	800
チャリティーゴルフ	37
チャリティーウォーク	30

## ◆地域活動

区分	参加者数	活動日数	有給者数	ボランティア数
地域活動	7010	31	70	612
中学生バスケットボール大会	3,500	9	2	204
チャリティーラン	470	1	3	150
ピースフルサンデー	800	1	0	200
名古屋 YMCA 大会	191	1	43	24
クリスマスキャロル	134	5	2	12
クリスマスカードコンテスト	1,756	1	2	4
早天祈祷会	108	12	2	0
街頭募金	51	1	16	18

## ◆会員活動

区分	登録者数	活動日数	有給者数	ボランティア数
会員登録	333	0	0	0
維持会員	251	—	—	—
賛助法人	29	—	—	—
ボランティア会員	53	—	—	—
ワイズメンズクラブ	67	133	4	0
名古屋	25	24	1	0
東海	19	55	1	0
グランパス	14	30	1	0
南山	9	24	1	0

## ◆国際交流

区分	参加者数	活動日数	有給者数	ボランティア数
国際交流・理解	23	43	20	31
日韓ユース交流	19	6	2	11
ICCPJ	2	32	16	20
日中韓平和フォーラム	2	5	2	0

## ◆加盟団体・協力団体

- ・世界YMCA同盟
- ・アジア・太平洋YMCA同盟
- ・日本YMCA同盟
- ・愛知県青少年育成県民会議
- ・名古屋市青少年育成市民会議
- ・なごや国際交流団体協議会
- ・日本タスポニー協会
- ・全日本スキー連盟
- ・名古屋キリスト教社会館
- ・金城学院
- ・八事小学校
- ・名古屋ロータリークラブ
- ・名古屋いのちの電話
- ・シャローム保育園
- ・アジア保健研修財団
- ・アジア地域開発・保健ボランティア育成
- ・支援ネットワーク日本 (ACHAN JAPAN)
- ・名古屋市レクリエーション協会
- ・愛知県防災ボランティアネットワーク
- ・名古屋姉妹友好都市協会
- ・名古屋キリスト教協議会
- ・愛知県青少年団体連絡協議会
- ・愛知県キャンプ協会
- ・愛知県レクリエーション協会
- ・キリスト教保育連盟
- ・キ保連東海部会愛三岐クラブ
- ・名古屋市幼児教育研究会
- ・愛知県私立幼稚園連盟
- ・名古屋市私立幼稚園協会
- ・愛知県被災者支援センター
- ・名古屋市社会福祉協議会

## ボランティアリーダー・指導者

### 【公益財団法人 名古屋 YMCA】

#### ボランティアリーダー

##### ■野外活動

安藤真衣	伊東優希	今村舞雪	大嶽あまね	大村綾香	岡島麗夏	荻原亜依	落合渉花
柏木遥香	苅谷里桃	木下綾華	久保 薫	久米涼太	栗木悠多	小島みつき	近藤春奈
坂田紗羽	櫻井由依	塩崎結衣	島村真優佳	清水 愛	新海志野	杉本千穂	竹内真希
谷口文菜	玉置美沙	旅家美晴	土田裕貴	戸林 凌	野口明美	林 祐希	日比穂歌
深津椋平	福原汐音	藤原将太	星子菜々	三輪珠希	安井聡臣	安井宗輝	山下大我
山元咲穂	横田将俊	米屋美希	吉田萌乃	渡邊直貴			

##### ■体育プログラム

中野一輝	藤原将太	日比穂歌	安井宗輝
------	------	------	------

##### ■シーズンプログラム

安藤真衣	伊東優希	今村舞雪	稲垣咲良	大嶽あまね	大村綾香	岡島麗夏	荻原亜依
落合渉花	柏木遥香	苅谷里桃	木下綾華	久保 薫	久米涼太	栗木悠多	小島みつき
近藤春奈	坂田紗羽	櫻井由依	塩崎結衣	島村真優佳	清水 愛	新海志野	杉本千穂
竹内真希	谷口文菜	玉置美沙	旅家美晴	土田裕貴	戸林 凌	西野和音	野口明美
林 祐希	日比穂歌	深津椋平	福原汐音	藤原将太	星子菜々	前田紗歩	三輪珠希
安井聡臣	安井宗輝	山下大我	山元咲穂	横田将俊	米屋美希	吉田萌乃	渡邊直貴

##### ■乳幼児

新海志野

##### ■パレット（体操・デイキャンプ・キャンプ）

大村綾香	荻原亜依	近藤春奈	坂田紗羽	日比穂歌
------	------	------	------	------

##### ■イングリッシュプログラム

浅生千里	安藤友枝	石川佑香	小林恵子	近藤春奈	塩崎結衣	竹内真希	戸林 凌
野口明美	安井聡臣	和田志歩					

##### ■リーダーOB・OG&シニアボランティアリーダー（プログラム・行事支援）

坂口功祐	松坂常雄	増田繁一	村山盛芳	河合皓太	榊原崇志	鈴木花果	鈴木裕美
鈴木麻友	中川亜美	中野一輝	松下真夕	松脇優希	三崎綾花	宮原亜季	森田沙世子
大村美早希	飯田智真紀						

#### 指導者・講師

##### ■ウェルネス事業

秋田光生	石井かな子	伊藤恵以子	伊藤恭子	井原由香	岩本有里子	白井優華
エンドウヨウコ		大岩由実子	奥村美鈴	小田京子	上片平華奈	小坂青湖
鈴木広夢	関谷久恵	高橋千晶	都島るい子	長谷川八重子	服部智子	星島利江
堀田裕晴	前川 潤	牧野朋子	水谷光亮	水谷里美	水野 智子	三ツ井多美子
山岸節子	横井祐子	吉開佳奈	吉川裕子			

##### ■語学・国際事業

後藤則之	山岸節子	Alejandra Maria Gonzales Diaz	Matthew Thomas Carasiti
Nicole Woods Campbell Simkin	Jewel Mogaki	Jackson Wayne Dylan	
Ethan Paul Smith	Michael Carlton Serro	Oswaldo Flores Vidrio	
Entwistle Thomas James	Richard Thomas Ingham	James Christopher Beaumont Drew	
Joseph Harris JR	Yulia Windarlti	Judith Smith Saburi	Clark Aimee Julia
Marcos Inuzuka	Johnson Reid Adam	Jordan Rolfe Johnson	Schroter Ronald Jay
Benson Kimberley Ann	Salvatore Farruggio		

### 【学校法人 名古屋 YMCA 学園】

#### 指導者・講師

##### ■南山幼稚園

石井かな子	磯谷美栄子	井原由香	大場尚江	北嶋美与	加藤里美	柴山育子
谷川麻美	谷口美貴子	野矢真佐江	水谷里美	山名里美		

##### ■かみさわ保育園

石井佐代子	井上真里	宇佐美三奈子	世古瑞穂	武内美妃	塚原日登美	鳥羽ひろみ
長谷川綾野	山田槇子					

##### ■こひつじ保育室

鵜飼絵理奈	井原由香	中島知香	長谷川八重子
-------	------	------	--------



# 役員・スタッフ

(敬称略)

## ◆公益財団法人名古屋YMCA

### 【役員】

理事長 川本 龍資  
常務理事 中村 隆  
理事 オルソンキクチ三恵 後藤田 典子 深谷 聡  
監事 安藤 剛 磯部 徹  
評議員 岩井 羊一 近藤 真由美 下村 徹嗣 橋爪 良和 服部 庄三 林 左希也  
三口 大登 村山 盛芳 渡辺 真悟

### 【職員・スタッフ】

法人本部 総主事 中村 隆 部長 西野 真希  
本館 館長 万福寺昭美  
ウエルネスセンター 浅野 麻琴 熊崎 晋也 中島 成美  
ボランティアセンター 藤本 涼子  
ランゲージセンター 広瀬 謙一 Oana Cernomazu  
南山ファミリー館長 東田 美保 成瀬 祥子 若林 将太 中野 翔生 小林 加奈 鶴崎 祈  
清水 美佐子(兼) 小野木 浩美(兼)  
神沢ファミリー館長 中井 信幸 遠藤 恵美子 重留 まなみ(兼)  
刈谷センター所長 中井 信幸 谷口 みはる

### 【退職・採用】

退職 小林 加奈 (2017年5月) 成瀬 祥子 (2017年6月) 中野 翔生 (2018年3月)  
若林 将太 (2018年3月) 藤本 涼子 (2018年3月)  
採用 鶴崎 祈 (2017年6月) 中島 成美 (2017年7月) 藤崎 理奈 (2018年3月)  
尾井 史華 太田 真由 小西 隆之介 松永 留依 吉田 新規 (2018年4月)

## ◆学校法人名古屋YMCA学園

### 【役員・委員】

理事長 中村 隆  
副理事長 吉田 一誠  
理事 阿部 美男 坂本 清則 西村 清 橋爪 良和 東田 美保  
監事 荒川 文門 村山 盛芳  
評議員 阿部 美男 尾関 めぐみ 神野 啓子 坂本 清則 鈴木 雅丈 田口 恭仁子  
中村 隆 西野 真希 西脇 良 西村 清 橋爪 良和 原田 望  
東田 美保 藤田 留美 吉田 一誠

### 【職員・スタッフ】

南山幼稚園 園長 東田 美保 主任 済田 真美  
教諭 池田 恵美 井上 恵美 内川 紗也子 倉渕 暁未 田端 詩織  
細野 由美子 原田 和実 横井 麻緒  
事務 清水 美佐子(兼) 小野木 浩美(兼)  
嘱託 藤谷 一夫  
かみさわ保育園 園長 坂本 清則 副園長 中井 信幸 主任 山田 公子  
保育士 秋田 東香 磯見 あや 加藤 沙月 北村 称子  
鈴木 捺津美 中村 美沙 藤原 沙也花 森 愛美  
調理員 吉田 あき  
事務 重留 まなみ(兼)  
こひつじ保育室 室長 西野 真希  
保育士 河野 未佳 田中 茜 成田 英里香  
栄養士 高木 やわら  
日本語学院開設準備室 室長 万福寺 昭美(兼) 惟任 将彦 藤崎 理奈 清水 玲子

### 【退職・採用】

退職(幼稚園) 細野 由美子 (2018年3月)  
採用(幼稚園) 足立 智美 (2018年4月) 吉田 奈央 (2018年4月)  
採用(かみさわ保) 園原 里彩 (2018年4月) 水野 萌子 (2018年4月)  
採用(日本語学院) 清水 玲子 (2018年4月)



みつかる。つながる。よくなっていく。

公益財団法人 名古屋 YMCA <http://www.ngoymca.com/>

名古屋 YMCA (本館)	〒 464-0848	名古屋市千種区春岡 1 丁目 2 番 7 号	Tel (052) 757-3331	FAX (052) 757-3332
南山ファミリー YMCA	〒 466-0835	名古屋市昭和区南山町 14	Tel (052) 831-6968	FAX (052) 834-9909
神沢ファミリー YMCA	〒 458-0014	名古屋市緑区神沢 2 丁目 831	Tel (052) 879-6300	FAX (052) 879-6227
刈谷地域センター (ウォーターパレス KC 内)	〒 448-0861	刈谷市半城土北町 1 丁目 402 番地	Tel (0566) 24-6261	FAX (0566) 24-6242
日和田高原キャンプ場	〒 409-3403	岐阜県高山市高根町留之原 1752-71	Tel (0577) 59-2450	FAX (0577) 59-2450
根の上キャンプ場	〒 508-0015	岐阜県中津川市手賀野字斧戸 756		
シーサイドセンター	〒 479-0848	愛知県常滑市港町 2-19		

学校法人 名古屋 YMCA 学園

南山幼稚園	〒 466-0835	名古屋市昭和区南山町 14	Tel (052) 831-8271	FAX (052) 834-9909	<a href="http://www.nanzanyochien.ed.jp">http://www.nanzanyochien.ed.jp</a>
YMCA かみさわ保育園	〒 458-0014	名古屋市緑区神沢 2 丁目 831	Tel (052) 879-6222	FAX (052) 879-6227	
YMCA こひつじ保育室	〒 464-0848	名古屋市千種区春岡 1 丁目 2 番 7 号	Tel (052) 757-5530	FAX (052) 757-3332	
名古屋 YMCA 日本語学院	〒 461-0002	名古屋市西区花の木 1-1-18	Tel (052) 531-0077	FAX (052) 531-0071	